

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開（可・否）

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野（ふりがな）	(分野) 編み組細工	(ふりがな) あみくみさいく	
地域独特の呼び方			
タイトル	ヒロロ細工		
伝承地域	三島町		
由来（年代）	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで（いつまで）伝えられてきたか)</p> <p>奥会津地方では山間部で採取される山ブドウ、マタタビ、アケビ、ヒロロなどの植物を素材として、冬の手仕事として籠などの編み組細工が行われてきた。</p>		
内容	<p>(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)</p> <p>採取したヒロロを乾燥させ縄状に緋い、その縄を編んで手さげ籠、抱え籠、肩掛け籠などを作る。</p> <p>網目が細かく、レース編みの様な仕上がりが特徴である。</p> <p>ヒロロには、ミヤマカンスゲとオクノカンスゲの二種類があり、この二種類のスゲ草を総称してヒロロと呼んでいる。</p> <p>ミヤマカンスゲをヒロロ、ホンヒロロと呼び、9月上旬に採取する。</p> <p>オクカンスゲはウバヒロロと呼び、葉の幅が広く6月に採取する。</p> <p>ヒロロは丈夫で水に強いいため、昔から蓑やスカリ(背負い籠)などの材料として使用されてきた。</p>		
大きさ・材質	(大きさ：緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。	(材質)	
見頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。)		
交通アクセス			
文化財等の指定状況			
問い合わせ先	奥会津三島編組品振興協議会 電話 0241-48-5502(三島町生活工芸館)		

キーワード



(三島町生活工芸館)

【フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

活動の様子が分かる資料等があればコピーをご恵与ください。